

DVD プレーヤー

DVD-S80



取扱説明書



このたびはヤマハ DVD プレーヤー DVD-S80 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。DVD-S80 の優れた性能を十分に発揮させるとともに、永年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずご使用の前にお読みください。また、お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

ご使用前に必ずお読みください。

ディスクについて

再生できるディスク

名称	ロゴマーク	本書内マーク
DVD ビデオ		
DVD-R		
CD		
ビデオ CD		

■ DVD ビデオのリージョン番号

発売地域ごとにディスクとプレイヤーに割り当てられた番号のことです。

本機のリージョン番号は「2」です。「2」(または「2」を含むもの)と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。

ディスクのジャケットもご参照ください。



再生できないディスク

リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD
PAL 方式で記録されたディスク
Photo-CD DVD-ROM DVD-RAM
DVD-Audio +RW DVD-RW
CD-ROM CDV CD-G
CVD SVCD SACD など

■ DVD-R ディスクについて

使用するディスクや記録状態により、再生できない場合があります。

■ CD-R/CD-RW ディスクについて

本機は、CD-DA フォーマットまたはビデオ CD フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズされた音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

再生対応機器で再生できるよう処理すること

MP3 の再生について

基本的な操作は CD と同じです。

本書では、MP3 でのみ可能なもの、または操作方法が異なるものについて のマークを表示しています。

静止画データの入った MP3 ディスクを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まってから正確に時間が表示されないことがあります。本機は、ID3 タグには対応していません。

DVD、ビデオ CD のなかには、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。なお、表示窓に経過時間が表示されないディスクや、メニュー画面を持ったビデオ CD の場合、機能が働かない場合があります。

ジャケット上のマークについて

<画面サイズ(横:縦)>

標準(4:3)サイズ

レターボックス
4:3 で上下に黒帯が入った画面

16:9 のワイドサイズ
標準(4:3)サイズのテレビではレターボックスで再生

16:9 のワイドサイズ
標準(4:3)サイズのテレビではパン&スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生

<記録されている音声の種類>

ドルビーデジタル
本機では、このディスクを2チャンネルの音声で楽しめます。

DTS デジタルサラウンド
DTS デコーダーを内蔵する機器(別売)と接続すると、DTS の音声を楽しめます。

<その他> イラストは例です。

音声数

字幕数

アンゲル数

付属品のご確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

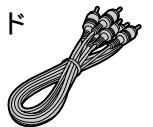
お願い

付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

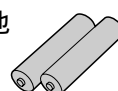
リモコン



音声/映像コード



リモコン用乾電池
(2本)



電源コード



もくじ

まず
準備しよう

ディスクについて	2
付属品のご確認	2
安全上のご注意 <small>必ずお守りください</small>	4
リモコンの準備	5
他の機器と接続する	6
テレビに合わせて設定する	8

すぐ
使ってみる

ディスクを再生する	9
記憶させた位置から再生する (ポジションメモリー機能)	10
一時停止する	10
場面・曲を番号指定で再生する	10
スロー再生する	11
早送り・早戻しする	11
場面・曲を飛びこす (スキップ)	11
コマ送り・コマ戻しする	11

もっと
使いこなす

MP3 のメニュー再生	12
繰り返し再生する	13
便利な再生方法	14
好みの順に再生する (プログラム再生)	14
順不同に再生する (ランダム再生)	15
好みの位置を記憶させる (マーカー)	15
映画や音楽をもっと楽しむ	16
2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ (ADVANCED SURROUND)	16
迫力ある重低音を楽しむ (BASS EXTENSION)	16
映画向けの画質にする (CINEMA IMAGE)	17
映画のセリフを聞き取りやすくする (CINEMA DIALOGUE)	17
映像を拡大する (4:3 TVズーム)	18
音声を切り換える	18
アングルを切り換える	18
字幕言語を切り換える	19
MDなどに録音する	19
絵表示 (GUI画面) を使って操作する	20
ディスク情報	20
本機情報	21
初期設定を変更する	22

もし
必要なとき

言語番号一覧表	24
お手入れ・使用上のお願い	24
著作権	25
Q & A (よくあるご質問)	25
故障かな! ?	26
各部のなまえとはたらき	28
用語解説	30
主な仕様	31
ヤマハホットラインサービスネットワーク	(裏表紙)

まず

すぐ

もっと

もし

もくじ



安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

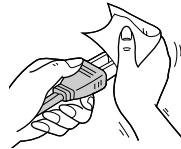


傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

抜くときは、プラグを持ちまっすぐぬいてください。

コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



ショートや発熱により火災や感電の原因になります。機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。特にお子様にはご注意ください。

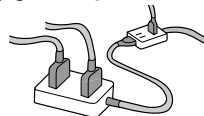
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

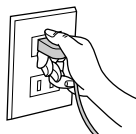
分解、改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。内部の点検や修理は、販売店へご相談ください。

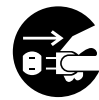
電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

もし異常が起きたら

異常があったときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

機器内部に金属や水、異物が入ったとき煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

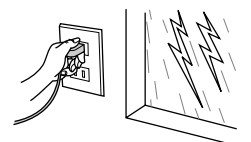
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。販売店にご相談ください。

雷について

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない



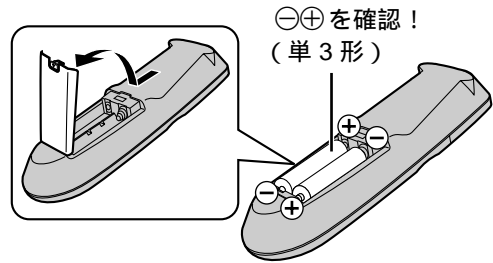
接触禁止



感電の恐れがあります。

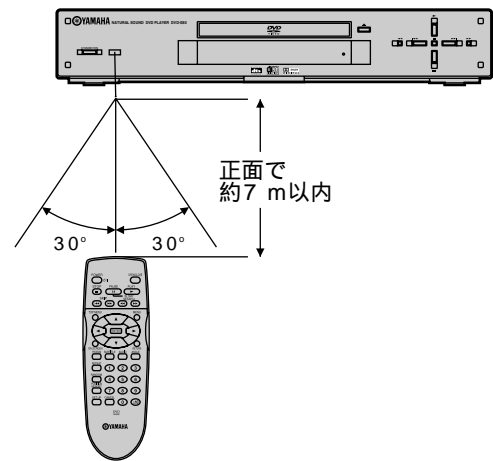
リモコンの準備

乾電池 (付属) を入れる



⊖側に押しながら入れる

リモコンの使用範囲



お願い

受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
他の機器のリモコンと同時に使わない。
受信部とリモコン先端のほこりに注意する。

本体をラックに入れて使用するときは

ガラス扉の厚さや色などによって、使用範囲が短くなることがあります。

注意 ⚠

設置・接続について

不安定な場所に設置しない



上に大きなもの、重いものを載せない
高い場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

ご使用について

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する



指に注意

閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

乾電池について

電池は正しく取り扱う



⊕と⊖は正しく入れる
長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使いかたをしない



新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
乾電池は充電しない
加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
ネックレスなどの金属物といっしょにしない
被覆のはがれた電池は使用しない
乾電池の代用として充電式電池は使用しない

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。

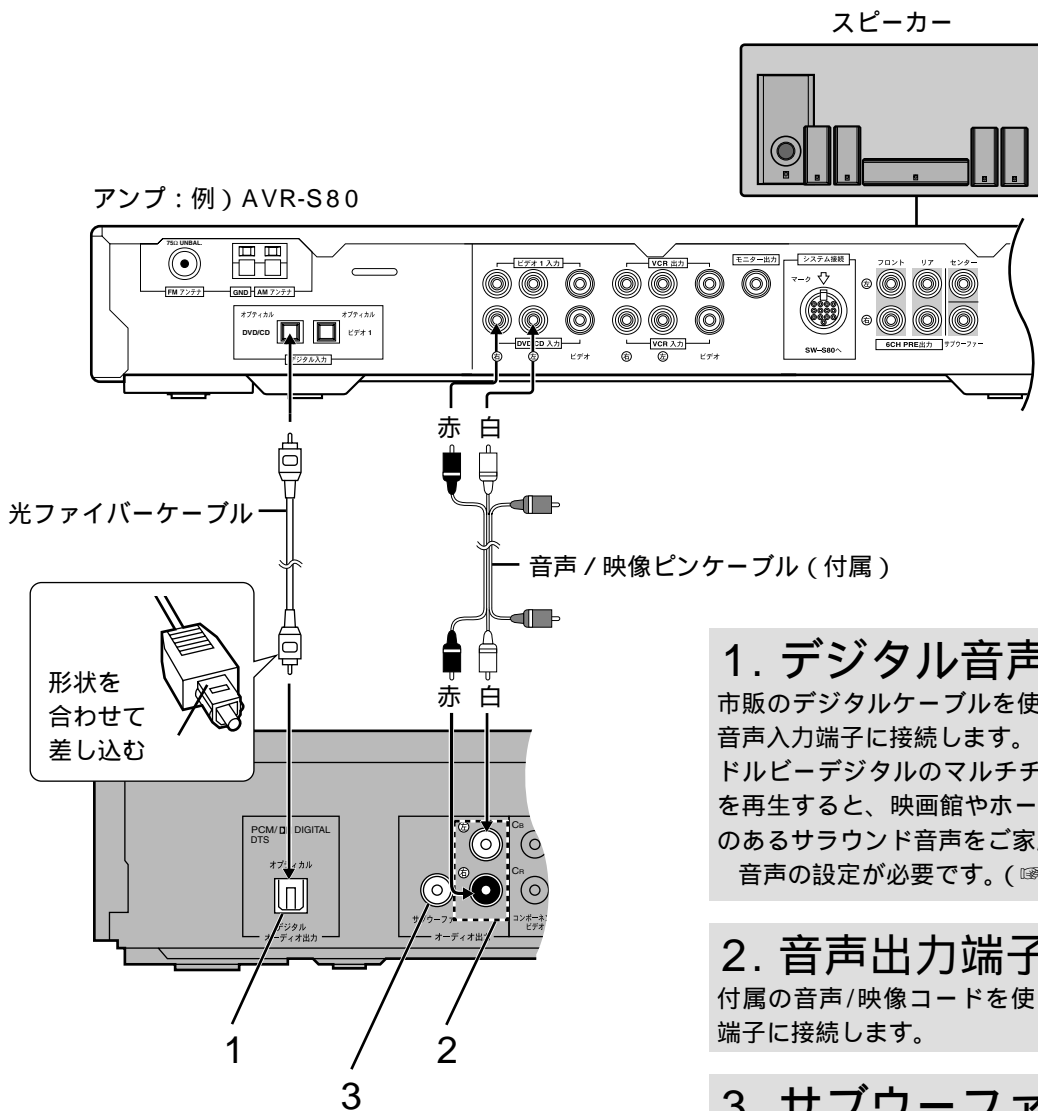
万一液もれが起これたら、販売店にご相談ください。
液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

他の機器と接続する

お願い

電源コードは抜いてください。(電源コードは最後に接続します。)
接続する機器の説明書もよくお読みください。

音声入力端子との接続



1. デジタル音声出力端子

市販のデジタルケーブルを使って、AV アンプのデジタル音声入力端子に接続します。
ドルビーデジタルのマルチチャンネルで記録された DVD を再生すると、映画館やホールにいるような臨場感と迫力のあるサラウンド音声をご家庭で楽しめます。
音声の設定が必要です。(23 ページ)

2. 音声出力端子 (MIX 2CH)

付属の音声 / 映像コードを使って、AV アンプの音声入力端子に接続します。

3. サブウーファー端子

アンプ内蔵のサブウーファーに接続すると、より迫力のある重低音をお楽しみいただけます。MIX 2CH 端子と合わせてお使いください。

サブウーファーはできるだけ前方中央よりに置き、音量はサブウーファー側で調節してください。

映像入力端子との接続

下記の映像出力端子を使って、いずれかの接続をしてください。

1. 映像出力端子

一般的な映像信号を出力します。AV アンプの映像入力端子に接続すると、音声と映像信号の入力調整がアンプひとつでおこなえます。

2. S 映像出力端子

市販の S ビデオケーブルを使って、テレビの S 映像入力端子に接続します。

映像情報を輝度 (Y) 信号とカラー (C) 信号に分離してテレビに伝えるため、映像出力端子に接続した場合よりも鮮明な画像を得られます。S 映像入力端子と出力端子を持つ AV アンプに接続すると、音声と映像信号の入力調整がアンプひとつでおこなえます。

3. コンポーネント映像出力端子

市販のコンポーネントビデオコードを使って、テレビのコンポーネント映像入力端子と接続します。

または

4. D1 映像出力端子

市販の D 端子ケーブルを使って、テレビの D 映像入力端子と接続します。または、市販の D 端子ピンケーブルを使って、テレビのコンポーネント映像入力端子と接続することもできます。

輝度 (Y) 信号とコンポーネント (C_B、C_R) 信号に分けてテレビに伝えるため、S 映像よりも色を忠実に再現します。コンポーネント映像の入力端子と出力端子を持つ AV アンプに接続すると、音声と映像信号の入力調整がアンプひとつでおこなえます。

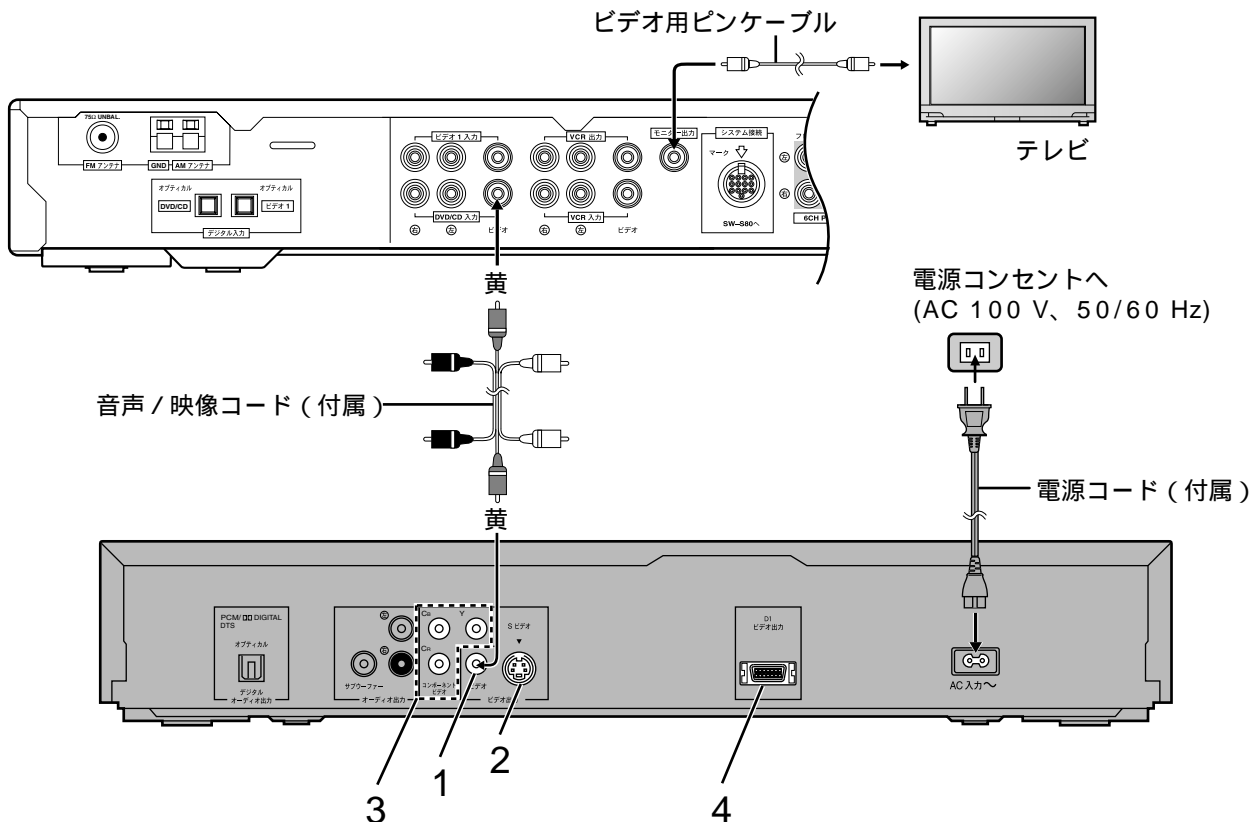
テレビによっては入力端子の表示が異なることがあります (Y、C_B、C_R や Y、B-Y、R-Y など)。この場合、同じ色の端子どうしを接続してください。

ハイビジョンテレビに接続する場合は、DVD 対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続してください。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子に接続すると、映像方式が異なりますので、画面が乱れたり映らないことがあります。

お知らせ

本機の映像出力をビデオテープレコーダー経由で接続しないでください。本機とテレビとの間にビデオテープレコーダーなどを接続すると、著作権保護の影響により、再生時に画面が乱れることがあります。テレビのスピーカーで音声を楽しむ場合は、接続した映像入力と同じ音声入力の端子に接続してください。

まず



お願い

接続がすべて終了し、電源コードを本機に差し込んだあとコンセントへ差し込んでください。付属の電源コード以外は使用しないでください。

テレビに合わせて設定する

準備 テレビの電源を入れて、外部入力（「ビデオ1」など）に切り換える。

1 電源を入れる

2 初期設定画面を表示する

お買い上げ後初めて [SET UP] を押すと、必要な設定を簡単に行える「クイックセットアップ」画面が表示されます。カーソルボタン [▲、▼] と [ENTER] で

する を選ぶと画面上のガイドに従って設定することができます。

くわしくは、画面の表示に従ってください。

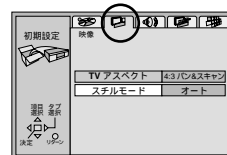
しない を選んだ場合は、手順3に進んでください。

「しない」を選んでも、再びガイドを表示させることもできます。
(☞23ページ「クイックセットアップ」)

ひとつ前の画面に戻る

設定を終了する

3 [◀、▶]で “映像” を選ぶ



4 [▲、▼]で “TV アスペクト” を選び [ENTER]を押す



5 [▲、▼]で TV 画面の横縦比を選び [ENTER]を押す

4 : 3 パン&スキャン（お買い上げ時の設定）

標準（4 : 3）サイズのテレビ
ワイドサイズのソフトをパン&スキャンで映したいとき



4 : 3 レターボックス

標準（4 : 3）サイズのテレビ
ワイドサイズのソフトをレターボックスで映したいとき



16 : 9

ワイドサイズのテレビ

必要に応じて、テレビ側の画面モードの設定も行ってください。

ディスクを再生する

DVD

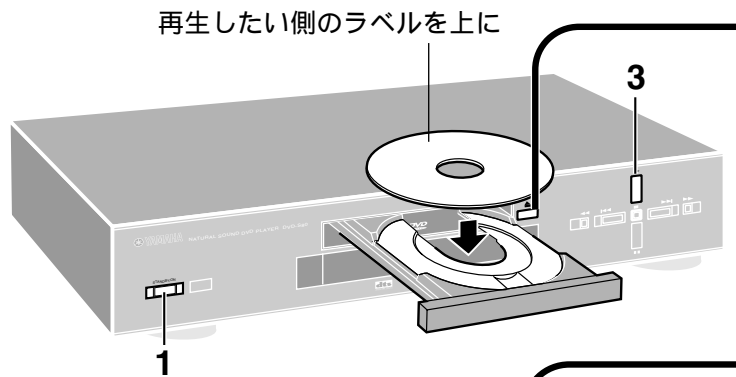
CD

VCD

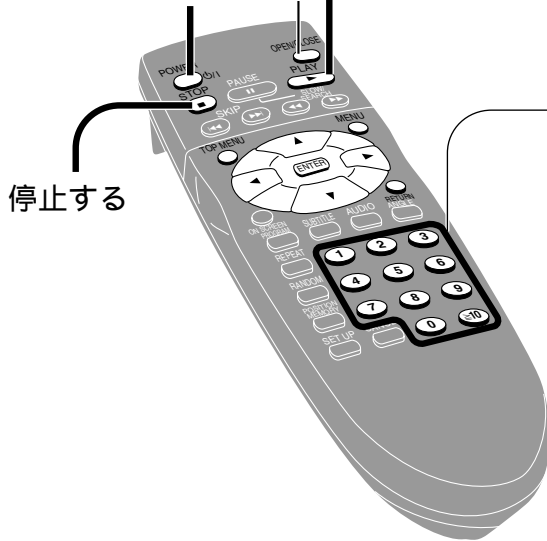
テレビに合わせて設定する

まず
すぐ

ディスクを再生する



1 電源を入れる



2 トレイを開け、ディスクをおく

3 再生を始める

メニュー画面が表示されたときは

DVD VCD

数字ボタンで項目を選ぶ

DVDの場合 [▲、▼、◀、▶] を押して項目を選び、[ENTER] を押ししても選べます。

2ケタの番号を入力するには

例) 25 ⇒ 10 ⇒ 2 ⇒ 5

メニュー画面に戻すには

DVD [TOP MENU]
(最初のメニュー画面)
[MENU] (メニュー画面)

VCD [RETURN]

お願い

メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本体のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付き等を防止するため、続けて再生しないときは [■] を押して再生を停止してください。

お願い

DVD 再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。再生したときにテレビの音量を上げた場合は、テレビ放送に切り換える前に必ず元の音量に戻してください。突然大きな音が出ることがあります。

お知らせ

“⊙” がテレビ画面に表示されたときはディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。映像や音声が出るまでに時間がかかることがあります。本機の故障ではありません。停止状態で30分経過すると、その時点で電源が切れます。(オートパワーオフ)

節電のために

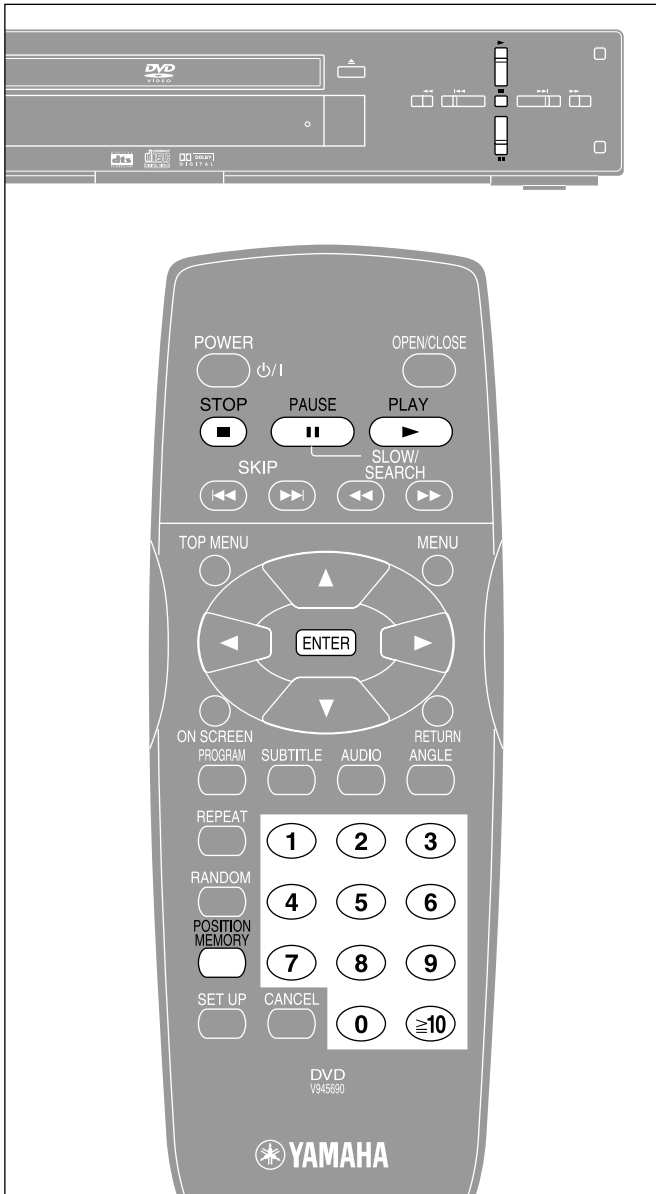
本機は電源を切った状態(スタンバイ状態)でも、約1.5Wの電力を消費しています。長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。

MP3 のみ 画面の下部に文字情報が表示されます。

グループ: ミュージック集 — グループ名
2001
トラック: 真夏の恋 ———— トラック名

MP3 ディスクは、通常の再生もできますが、本機のメニュー画面を使うことで、より便利に操作できます。(12 ページ)

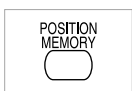
ディスクを再生する (つづき)



記憶させた位置から再生する (ポジションメモリー機能)

DVD CD VCD

再生中



テレビ画面には“位置を記憶しました”と表示されます。

電源を切る、またはディスクを取り出す

電源を入れる、または位置を記憶させたディスクを入れて



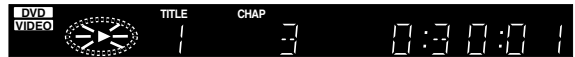
前回記憶した位置から再生が始まります。メモリーはこの時点で消去されます。

ディスク 5 枚分まで記憶可能です。6 枚目以降は、一番古いメモリーから順に消去されます。ディスクによってはメモリーできないものもあります。

続き再生メモリー機能を使う

再生中、[■]を押すと、停止した位置が記憶されます。ただし記憶した位置は、トレイを開ける、または電源を切ると、解除されます。

“▶”点滅中に [▶] (再生) を押すと、停止した位置から再生が始まります。



あらすじリプレイ (DVD の同一タイトル内のみ)

“▶”点滅中に [▶] (再生) を押すと、

再生ボタンを押すと、あらすじリプレイになります。

画面表示中に [▶] (再生) を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、その位置から再生が始まります。

[▶] (再生) を押さずに放置しておくと、画面表示が消え、記憶した位置から再生が始まります。

メモリー機能を解除するには
表示窓の “▶” が消えるまで [■] を押す

一時停止する

DVD CD VCD

再生中

リモコン

本体

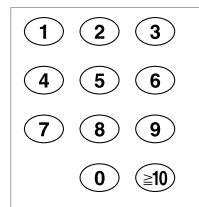


[▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。

場面・曲を番号指定で再生する

DVD CD VCD

リモコン

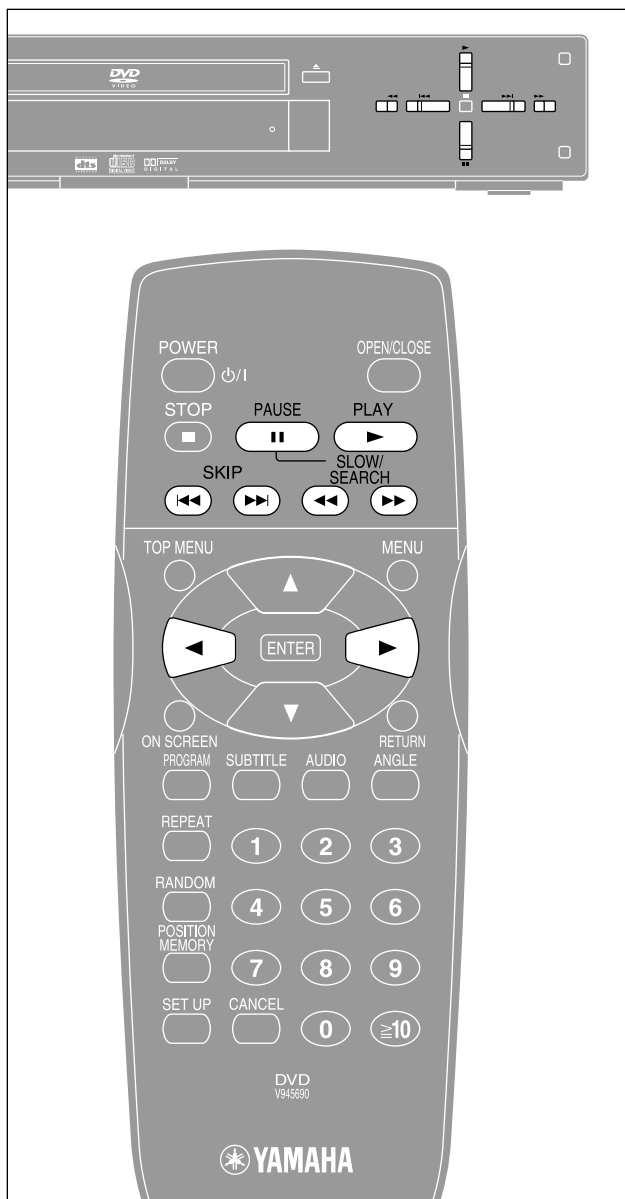


2ケタの数字を入力するには

例) 25 ≧10 ▶ 2 ▶ 5

MP3 のみ 2 ▶ 5 ▶ ENTER

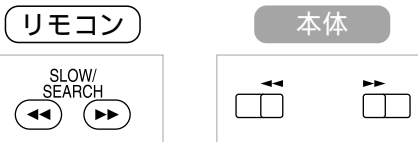
停止中でのみ動くディスクもあります。



早送り・早戻しする

DVD CD VCD

再生中

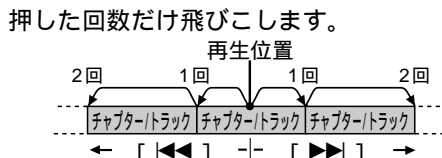
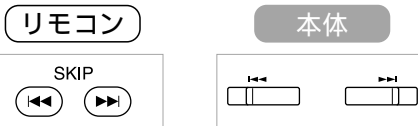


押すたびに、5段階で速くなります。
 [▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。
 音声を消すこともできます。(P.23 ページ、早送り時の音声)

場面・曲を飛びこす(スキップ)

DVD CD VCD

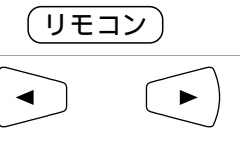
再生中 / 一時停止中



コマ送り・コマ戻しする

DVD VCD

一時停止中

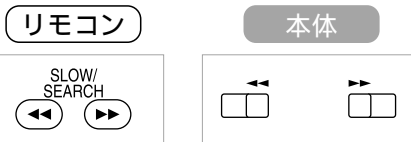


押し続けると、連続してコマ送り/コマ戻しします。
 [▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。
 [■] を押してもコマ送りできます。
 ビデオCDではコマ戻しはできません。

スロー再生する

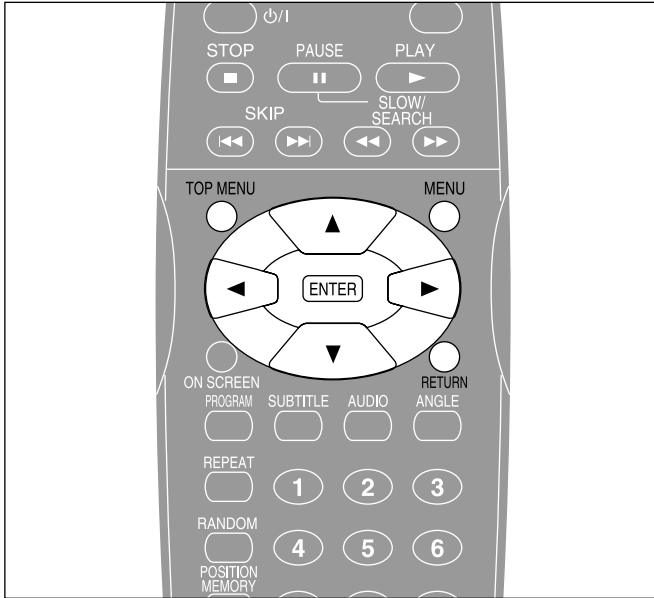
DVD VCD

一時停止中



押すたびに、5段階で速くなります。
 [▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。
 ビデオCDでは戻り方向のスロー再生はできません。

すぐ



本機のメニュー画面は、パソコン等でフォルダや MP3 ファイルに付けた名前をそれぞれグループ名、トラック名として表示することができます。

- 表示可能な漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外の漢字は“_ (アンダーバー)”で表示されます。
- メニュー画面での表示の順番は、パソコンのディスプレイで表示される順番と違うことがあります。
- 本機は、ID3 タグには対応していません。

1 [TOP MENU] または [MENU] MP3 リストを表示させる



2 [▲] [▼] トラックを選び

[ENTER] 再生する

ディスクの最後まで続けて再生したあと、停止します。
“” は、再生中の曲を表します。

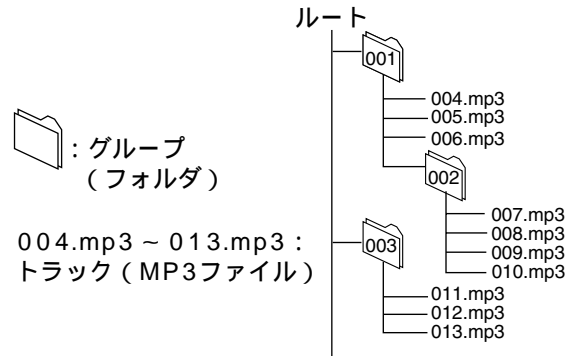
前後のページを表示するには
[▲]、[▼]、[◀]、[▶] で “前ページ”、“次ページ” を選んで [ENTER] を押す

1 グループのすべてのトラックを表示した後は、前後のグループを表示します。

■ MP3 リストを閉じるには
[TOP MENU] または [MENU] を押す

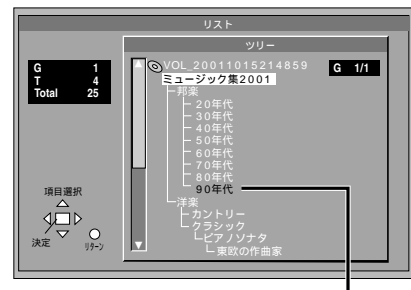
本機で再生可能な MP3 を作成するには

- 使用できるフォーマット: ISO9660 level 1 及び level 2 (拡張フォーマットを除く)
ファイル名には必ず “.mp3” または “.MP3” の拡張子を付けてください。
- 好みの順に再生したいときは、ファイル名の先頭に再生したい順でけた数を揃えた数字を付けてください(下図)。ただし順番通りに再生できないこともあります。



ディスクの全体図 (ツリー画面) を見てグループを選ぶには

1 [▶] (カーソルボタン) を押してツリー画面を表示する



選べない (MP3 ファイルを含まない) グループ

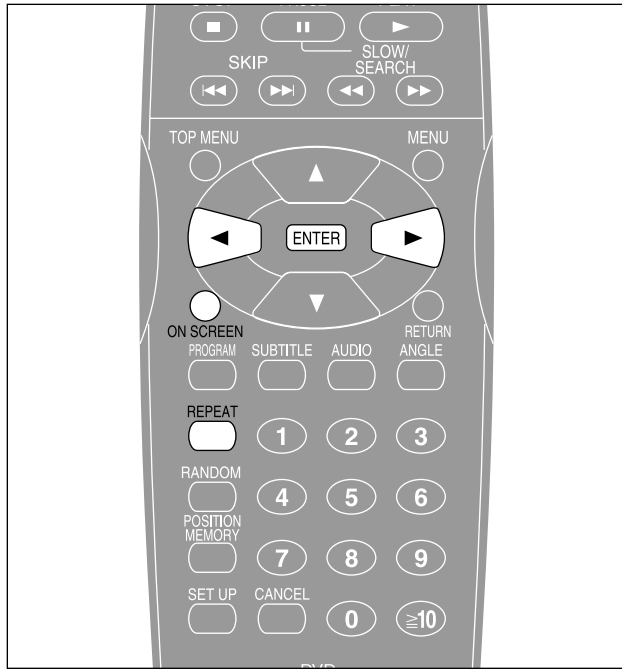
2 [▲]、[▼] でグループを選び [ENTER] を押す
選ばれたグループの MP3 リスト (左記手順 1) が表示されます。

■ ひとつ前の画面に戻るには
[RETURN] を押す

お知らせ

- 本機は、マルチセッションに対応しています。セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。
- サンプリング周波数 32 kHz の MP3 ファイルは再生できません。
- 8 階層より深い階層にあるグループは、8 階層目と同じ列に表示されます。

繰り返し再生する



繰り返し再生する(リピート再生)

DVD CD VCD

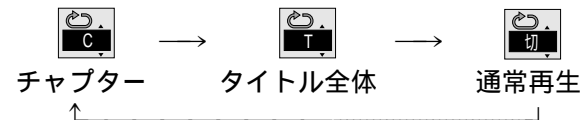
再生中

リモコン

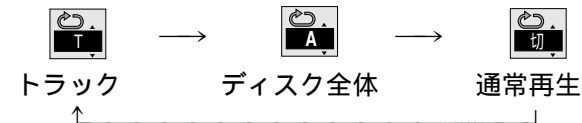


押すたびに

< DVD >



< CD / ビデオ CD >



MP3のみ



お知らせ

DVD および MP3 ディスクでは、ディスク全体の繰り返し再生は選べません。

■ 好みのトラック/チャプターを繰り返し再生する

1 好みのトラック/チャプターをプログラム再生する(14 ページ)

2 再生中に[REPEAT]を押し、 を表示させる

好みの 2 点間を繰り返し再生する (A-B リピート再生)

DVD CD VCD

同一タイトル/トラック内で、好みの 2 点 (A 点と B 点) を指定して、その 2 点間を繰り返し再生することができます。

例)

タイトル/トラック1	タイトル/トラック2	タイトル/トラック3
------------	------------	------------

A ←→ B

1 再生中

リモコン



本機情報画面 (21 ページ) を表示させる

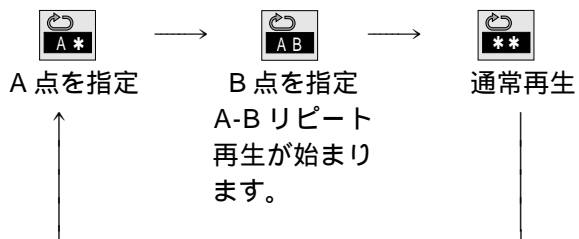


A-B リピート再生

2 「A-B リピート再生」を選ぶ

3

押すたびに



お知らせ

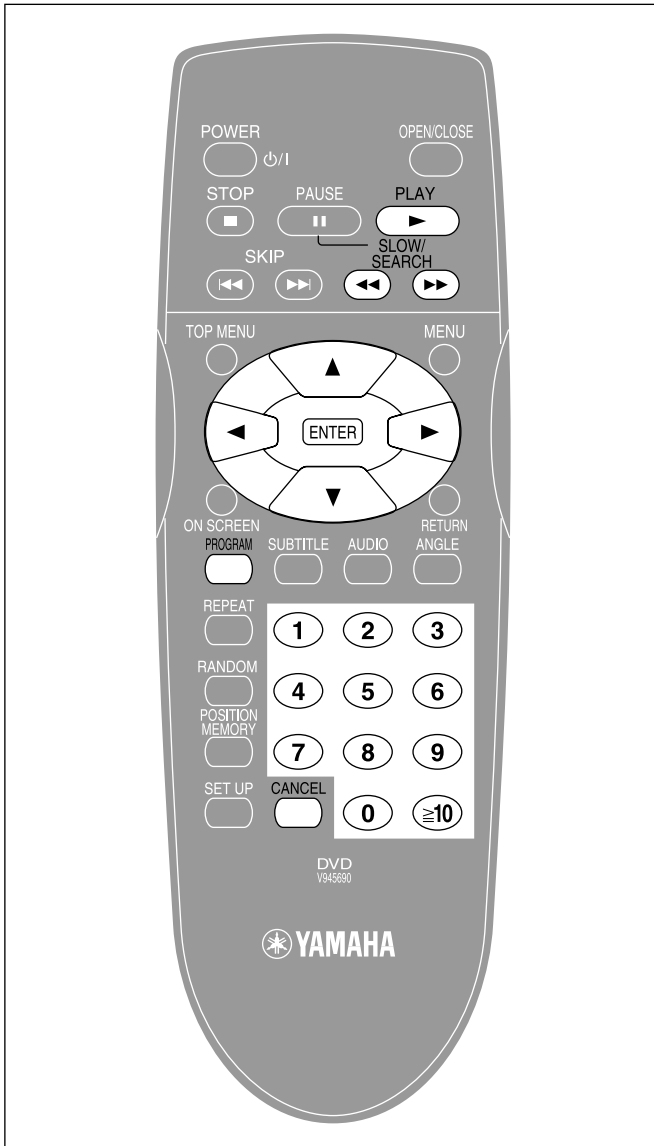
A-B リピート再生の B 点を指定する前にタイトル/トラックが終わったときは、その終点が B 点として指定されます。

A 点と B 点の前後では、字幕が表示されないことがあります。

もっと

繰り返し再生する

便利な再生方法

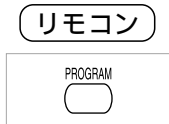


好みの順に再生する (プログラム再生)

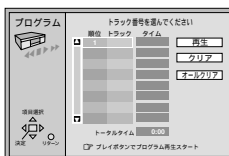
DVD CD VCD

最大32トラック/チャプターまで好みの順に再生します。

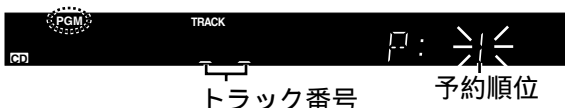
1 停止中



例) CD



“トータルタイム”：予約の合計時間
(ただしDVD、MP3の場合は表示されません)



2 DVD ^{MP3のみ}

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
0 ≧10

タイトル(DVD)またはグループ(MP3)を選ぶ

選べないものもあります。
DVDで違うタイトルを選ぶと、音声や字幕が違うことがあります。

2ケタのグループを入力するには
例) 12 ≧10 → 1 → 2

3

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
0 ≧10

MP3のみ

チャプター(DVD)またはトラック(CD、VCD)を選ぶ

数字ボタン [ENTER]
2ケタの入力には ≧10 は不要

続けて選ぶときは、手順2、3を繰り返してください。
カーソルボタンでタイトル/グループ/チャプター/トラックを選ぶこともできます
[ENTER]を押した後、[▲、▼]で選び、[ENTER]を押す
“ALL”を選ぶと全曲(DVDはタイトル、MP3はグループ内の全曲)が予約されます。

4

PLAY

プログラム再生を始める

DVDでは、プログラム再生できないタイトル/チャプターもあります。

■ 予約を追加、変更する

- 1 [▲、▼]を押して予約番号を選ぶ
- 2 上記手順2、3をくり返す

■ プログラム画面のページを前後に移動する

[◀◀]または[▶▶]を押す

■ 予約を1つずつ取り消す

- 1 [▲、▼]を押して取り消す予約番号を選ぶ
- 2 [CANCEL]を押す

[▲、▼、◀、▶]で“クリア”を選び[ENTER]を押しても操作できます。

■ 予約を全て取り消す

- 1 [▲、▼、◀、▶]を押して“オールクリア”を選ぶ
- 2 [ENTER]を押す

■ プログラム画面を消す

[PROGRAM]を押す

予約内容は電源を切る、またはトレイを開けると消去されます。

好みの位置を記憶させる(マーカー)



DVD CD VCD

再び見たい(聞きたい)箇所にマークを付けておくと、後でそこから再生することができます。(最大5箇所)

1 リモコン



本機情報画面(21ページ)を表示させる

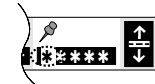


マーカー

2 「マーカー」を選ぶ



3 ENTER



4 もう一度見たい/聞きたいところで



マークをつける

- 他にマークを付けるには
[▶] (カーソルボタン) を押し、マークを付けたいところで[ENTER]を押す
- マークを呼び出すには
[◀、▶]でマークを選び[ENTER]を押す
- マークを取り消すには
[◀、▶]でマークを選び[CANCEL]を押す
- 画面表示を消すには
[ON SCREEN]を押す

お知らせ

電源を切る、またはトレイを開けると、マークは消去されます。

順不同に再生する(ランダム再生)

DVD CD VCD

1 停止中

リモコン



例) DVD



2



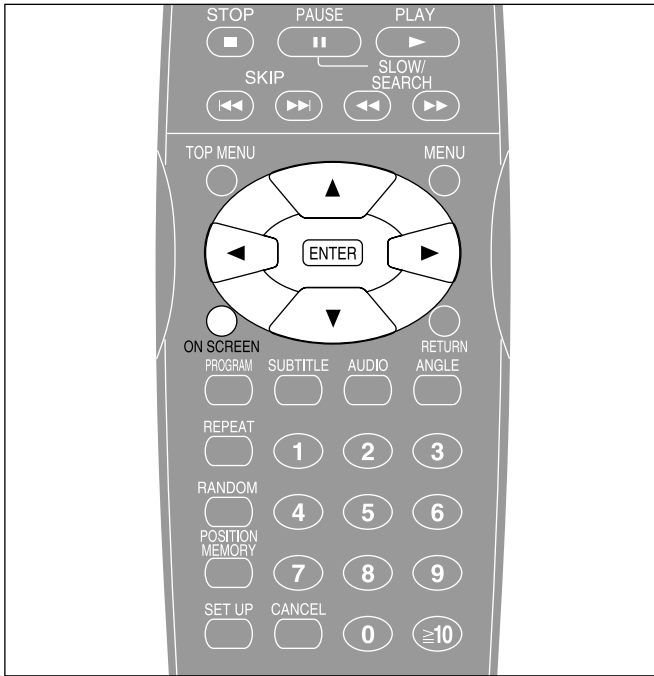
DVD のみ
数字ボタンでタイトルを選ぶ
ランダム再生を始める

DVDでは、ランダム再生できないタイトル/チャプターもあります。

- ランダム画面を消すには
[RANDOM]を押す

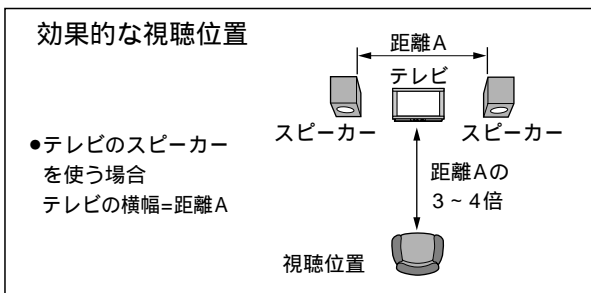
もっと

映画や音楽をもっと楽しむ



2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ (ADVANCED SURROUND)

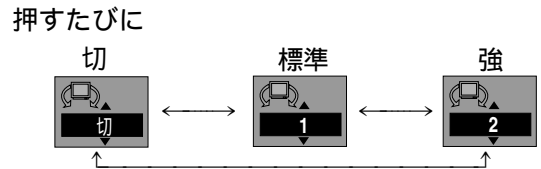
DVD (ドルビーデジタル2ch以上のディスク)
 サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。



接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。

- 再生中
 リモコン
 ON SCREEN
 くり返し押す
 本機情報画面 (21 ページ) を表示させる
- 一番左のアイコンを選び
 下記絵表示を表示させる
 ADVANCED SURROUND

- 「ADVANCED SURROUND」を選ぶ
- お好みの設定を選ぶ



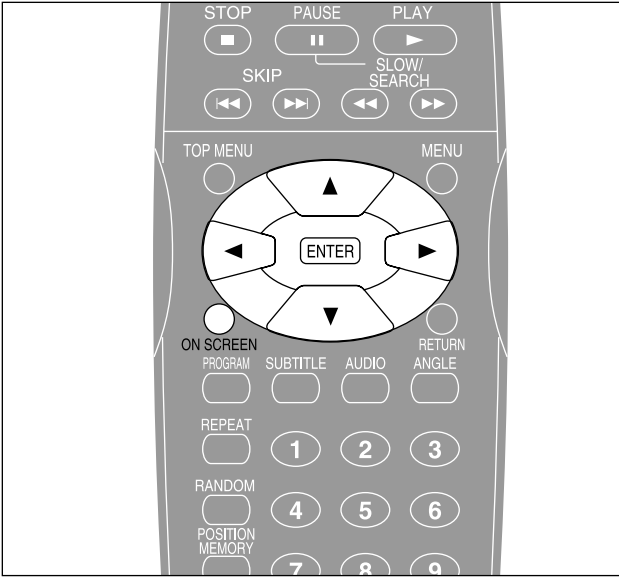
ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
 音声がひずむ場合、「切」にしてください。

迫力ある重低音を楽しむ (BASS EXTENSION)

DVD **CD** **VCD**
 アンプ内蔵サブウーハーと接続 (6 ページ) したときに設定します。

- 再生中
 リモコン
 ON SCREEN
 くり返し押す
 本機情報画面 (21 ページ) を表示させる
- 一番左のアイコンを選び
 下記絵表示を表示させる
 BASS EXTENSION
- 「BASS EXTENSION」を選ぶ
- お好みの設定を選ぶ
 押すたびに
 切 標準 強

ドルビープロロジックのサラウンド効果を楽しむときは、正しいサラウンド効果を得るために、ADVANCED SURROUND と BASS EXTENSION は「切」にしてください。



映画向けの画質にする
シネマイメージ
(CINEMA IMAGE)

DVD VCD

- 再生中
リモコン
ON SCREEN
くり返し押す
本機情報画面 (21 ページ) を表示させる
- 一番左のアイコンを選び
下記絵表示を表示させる
CINEMA IMAGE
- 「CINEMA IMAGE」を選ぶ
- お好みの設定を選ぶ
押すたびに
通常の画質 シネマ 1 シネマ 2
Nor. Cin.1 Cin.2

シネマ 1 : 映画館で見ているようなしっとり感、さらに暗い場面では細部をはっきり
シネマ 2 : 昔の映画などをくっきり、さらに暗い場面では細部をはっきり

好みの画質に調整することもできます。
(“画質モード”の“ユーザー画質” 21 ページ)

映画のセリフを聞き取りやすくする
シネマダイアログ
(CINEMA DIALOGUE)

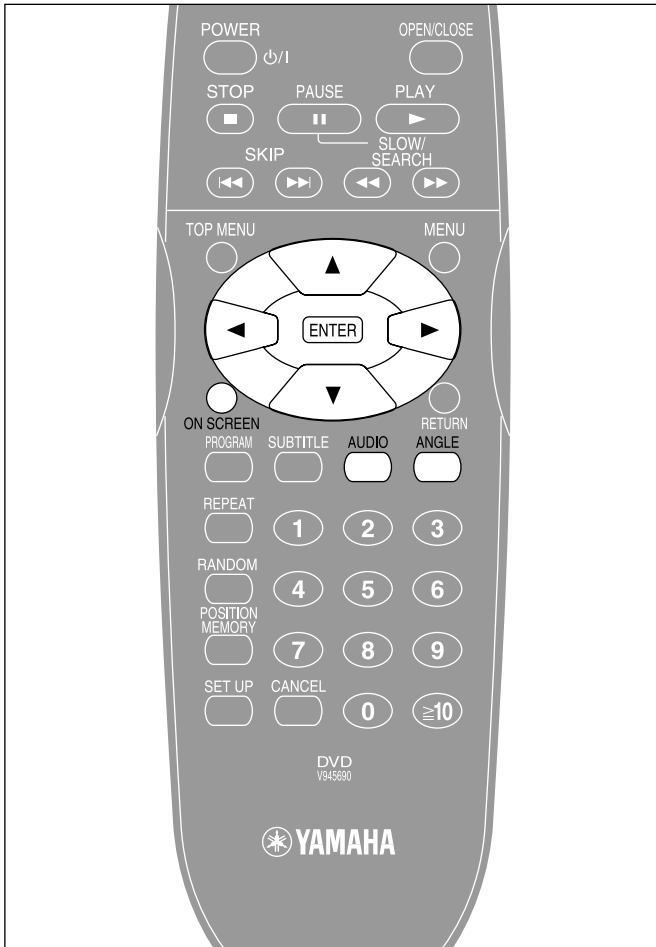
DVD (ドルビーデジタルで記録され、センターチャンネルにセリフが入っているディスク)

- 再生中
リモコン
ON SCREEN
くり返し押す
本機情報画面 (21 ページ) を表示させる
- 一番左のアイコンを選び
下記絵表示を表示させる
CINEMA DIALOGUE
- 「CINEMA DIALOGUE」を選ぶ
- お好みの設定を選ぶ
押すたびに
入 切

ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。

もっと

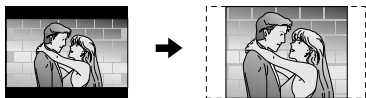
映画や音楽をもっと楽しむ (つづき)



映像を拡大する (4:3 TVズーム)

DVD

標準 (4:3) サイズのテレビで、ワイドサイズの映像がレターボックスで再生されるとき、映像の中央部を拡大して、テレビ画面サイズに近付けることができます。ただし、左右の端が見えなくなります。



1 再生中



本機情報画面 (21 ページ) を表示させる

2



一番左のアイコンを選び



下記絵表示を表示させる

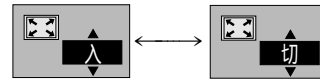


4:3 TVズーム

3 「4:3 TVズーム」を選ぶ

4 お好みの設定を選ぶ

押すたびに



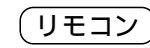
ディスクによっては働かないことがあります。メニュー画面では、ズーム機能は動きません。ズーム再生中は、ディスク内のメニューの操作や表示が正しく動きません。ディスクを入れ換えたり、電源を切ると、ズームは「切」になります。

音声を切り換える

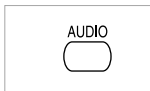
DVD VCD

(音声が複数記録されているディスク)

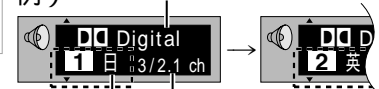
再生中



押すたびに



例) 音声属性 (右記)



音声言語 (右記) チャンネル (30 ページ)

“—”表示：音声が記録されていません

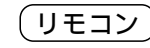
VCD: 音声チャンネルの切り換え

カラオケディスクではボーカルの入/切ができます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

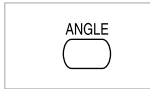
アングルを切り換える

DVD (アングルが複数記録されているディスク)

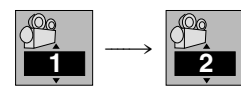
再生中

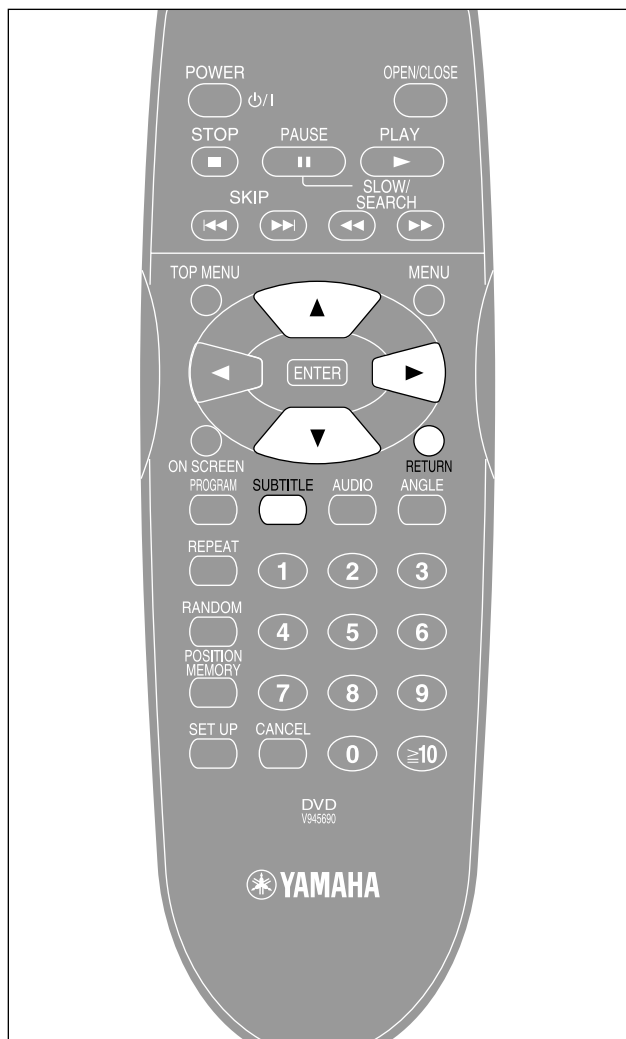


押すたびに



例)





字幕言語を切り換える

DVD (字幕が複数記録されているディスク)

再生中

押すたびに

リモコン

例)



字幕言語 (下記)

“ — ” 表示：字幕が記録されていません

字幕の表示まで少し時間がかかることがあります。

■ 字幕を「入」「切」するには

- 1 [▶] (カーソルボタン) を押す
- 2 [▲、▼] で「入」「切」を選ぶ



音声属性

LPCM / Digital / DTS : 信号タイプ

k : サンプル周波数 b : ビット数 ch : チャンネル数

音声 / 字幕言語

日 : 日本語 伊 : イタリア語 露 : ロシア語
 英 : 英語 西 : スペイン語 韓 : 韓国語
 仏 : フランス語 蘭 : オランダ語 * : その他
 独 : ドイツ語 中 : 中国語

音声 / 字幕 / アンゲル操作について

ディスクのメニュー画面でのみ切り換えができる場合もあります。

“ ⊙ ” が表示されたときは

ディスクに記録されていない音声 / 字幕 / アンゲル番号を選んでいるため、変更できません。

[RETURN] を押すと、画面表示が消えます。

もっと

MDなどに録音する

MDなどに録音する

■ デジタル録音

デジタル信号でMDなどに録音できます。

直接、光ファイバーケーブルで本機のデジタル音声出力端子と録音機器とを接続してください。(P.6 ページ)

お知らせ

DVD の場合、

- ① ディスクがデジタル録音を禁止されていない
- ② 録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz に対応していることが必要です。

本機の設定を以下のようにしてください。

- “PCM ダウンサンプリング変換”
(P.23 ページ) : “する”
- “Dolby Digital” (P.23 ページ) : “PCM”
- “DTS Digital Surround” (P.23 ページ)
: “Off”
- “ADVANCED SURROUND”
(P.16 ページ) : “切”

DTS 信号は録音できません。

■ アナログ録音

アナログ信号に変換された音声をカセットテープやMDに録音できます。

直接、音声コードで本機の MIX2 CH 端子と録音機器とを接続してください。(P.6 ページ)

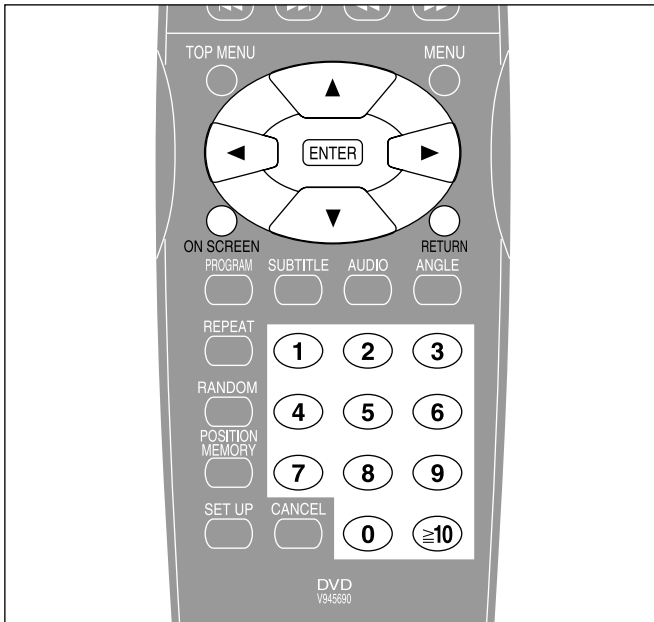
なお、デジタル録音のような制約はありません。

絵表示 (GUI 画面) を使って操作する

ジー・ユー・アイ グラフィカル・ユーザー・インターフェース

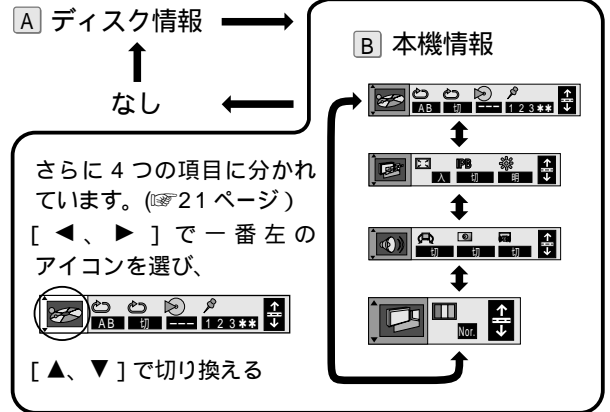
G U I (Graphical User Interface) とは

「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合はこの画面を「GUI画面」と呼びます。



1 [ON SCREEN] を押す

押すたびに



2 [◀, ▶] で

変更したい項目を選ぶ

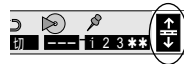
3 [▲, ▼] で好みの設定を選ぶ

●数字ボタン [ENTER] で変更できるものもあります。

例) 25 : (2) ▶ (5) ▶ [ENTER]

■GUI画面の位置を移動させるには

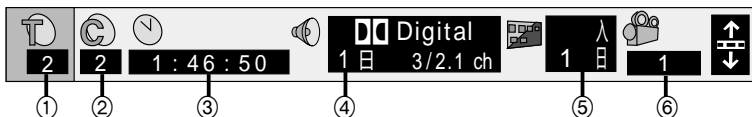
[◀, ▶] で一番右のアイコンを選び、
[▲, ▼] で切り換える (5段階)



■画面表示を消すには

GUI画面が消えるまで、[RETURN]を押す

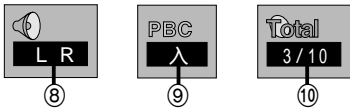
A ディスク情報



番号	内容	操作
①	タイトル番号 DVD トラック番号 CD VCD (MP3のみ) グループ番号	[▲, ▼] ↓ [ENTER]
②	チャプター番号 DVD (MP3のみ) トラック番号	[ENTER]
③	時間指定再生 DVD 例) 1時間 46分 50秒から再生 [1] [4] [6] [5] [0]	数字ボタン ↓ [ENTER]
	時間表示 DVD VCD CD (MP3は経過時間のみ表示) →タイトル/トラックの経過時間 ↓ ↑ ディスクの残り時間 (CD VCD のみ) ↓ ↑ →タイトル/トラックの残り時間	[▲, ▼]

番号	内容	操作
④	音声番号 DVD (18ページ)	[▲, ▼]
⑤	字幕番号 DVD (19ページ) 字幕「入」「切」	
	(MP3のみ) 文字情報「入」「切」	
⑥	アングル番号 DVD	
⑦	(カラオケDVDのみ) カラオケボーカル「入」「切」 デュエットディスクの場合、「V1」または「V2」を選ぶと、デュエットできます。	

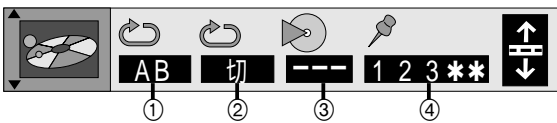
A ディスク情報



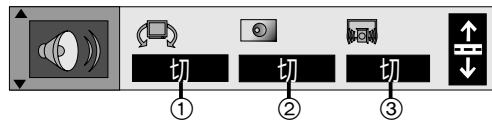
番号	内容	操作
⑧	音声チャンネル VCD	[▲、▼]
⑨	(PBC付 VCD のみ) メニュー再生の「入」「切」状態表示	変更不可

番号	内容	操作
⑩	(MP3のみ) トータルトラック番号 再生・選択中のトラック番号およびディスク内の総トラック数が表示されます。	[▲、▼] ↓ [ENTER]

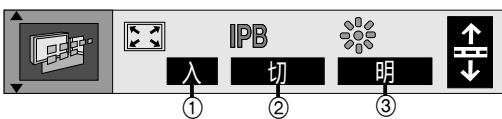
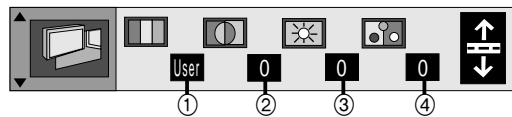
B 本機情報



番号	内容	操作
①	A-B リピート再生 DVD CD VCD (13 ページ)	[ENTER]
②	リピート再生 (13 ページ) DVD C : チャプター T : タイトル CD VCD T : トラック A : ディスク全体 (MP3のみ G : グループ)	[▲、▼]
③	再生モード DVD CD VCD --- : 通常 PGM : プログラム RND : ランダム	変更不可
④	マーカー DVD CD VCD	15 ページ



番号	内容	操作
①	ADVANCED SURROUND DVD (16 ページ)	
②	BASS EXTENSION DVD CD VCD (16 ページ)	[▲、▼]
③	CINEMA DIALOGUE DVD (17 ページ)	



番号	内容	操作
①	4:3 TV ズーム DVD (18 ページ)	
②	IPB 表示 DVD 一時停止時に画像種類表示 (I / P / B 30 ページ) の入 / 切を設定	
③	本体表示窓の明るさ調節 DVD CD VCD 明 ↔ 暗 ↔ オート (DVD VCD のみ) 再生中には暗くなりますが、サーチ中、一時停止中などは一時的に明るくなります。	[▲、▼]

番号	内容	操作
①	画質モード (17 ページ) DVD VCD Nor. : 通常画質 Cin.1 : シネマ画質 1 (しっとり) Cin.2 : シネマ画質 2 (くっきり) User : ユーザー画質 各種調節ができます。	[▲、▼]

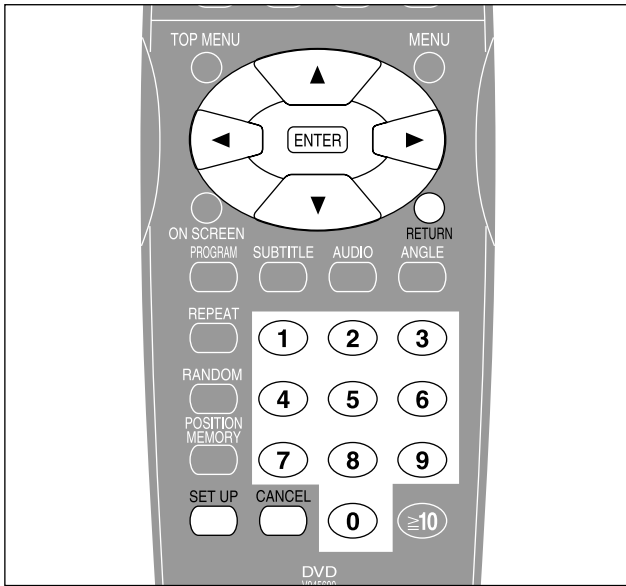


番号	内容	操作
②	コントラスト (-7 ~ +7) 白黒の強弱	
③	ブライトネス (0 ~ +15) 明るさ	[←、→] ↓ [▲、▼]
④	カラー (-7 ~ +7) 色の濃さ	

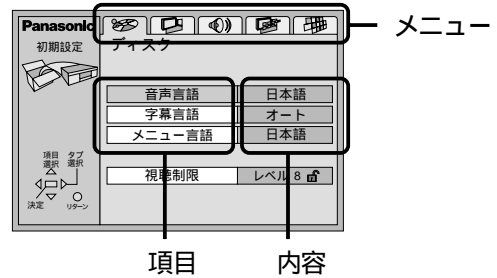
初期設定を変更する

日本語 のようにアミがかかった項目は、お買い上げ時の設定です。

設定は、電源を切っても次に変更するまで保持されます。



1 [SET UP] を押す



2 [◀, ▶] でメニューを選ぶ

3 [▲, ▼] で項目を選び、[ENTER] を押す

4 [▲, ▼] で内容を選び、[ENTER] を押す

■ ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN] を押す

■ 設定を終了するには

[SET UP] を押す



ディスク DVD

音声言語

言語（音声）が選べます。

日本語 / 英語 / オリジナル¹ / その他 * * * *²

字幕言語

言語（字幕）が選べます。

オート³ / 日本語 / 英語 / その他 * * * *²

メニュー言語

メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。

日本語 / 英語 / その他 * * * *²

視聴制限

お子さまなどに見せたくないDVDの視聴が制限できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

- レベル 8 : すべてのディスクが再生可
- レベル 7 ~ 1 : 制限レベルの記録されているディスクが再生不可
- レベル 0 : すべてのディスクが再生不可

レベル 0 から 7 を選ぶ、または選んだあと再び“視聴制限”の項目を選ぶと、暗証番号の入力画面が表示されます。(P.23 ページ)

- 1 “オリジナル” : ディスクの最優先言語が選ばれます。
- 2 “その他 * * * *” : 数字ボタンで言語番号を入力します。(P.24 ページ)
- 3 “オート” : “音声言語” で選んだ言語が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。



映像 DVD VCD

TV アスペクト

テレビサイズに合った画面表示方法が選べます。(P.8 ページ)

- 4 : 3 パン&スキャン
- 4 : 3 レターボックス
- 16 : 9

スチルモード

一時停止時の画像の表示方法が選べます。

- オート
- フィールド
- フレーム

フレーム / フィールド

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。



フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。



音声

PCM ダウンサンプリング変換 **DVD**
(デジタル接続時のみ)(6 ページ)

96 kHz 音声の再生方法を設定します。
接続機器が 96 kHz に対応していないときは、「する」を選んでください。

アナログ接続時は、接続機器に関係なく、「しない」を選んでください。

- **しない** : 96 kHz で出力
(ただし、ディスクが著作権保護されていると、音声は出力されません。このときは、「する」を選んでください。)
- **する** : 48 kHz に変換して出力

Dolby Digital **DVD**
(デジタル接続時のみ)(6 ページ)

デコーダー内蔵機器と接続している / いないに応じて、信号の出力状態を設定します。

- **Bitstream** : 接続しているとき
- **PCM** : 接続していないとき

DTS Digital Surround **DVD**
(デジタル接続時のみ)(6 ページ)
DTS 信号に対して上記と同様の設定をします。

- **Off** : 接続していないとき
- **Bitstream** : 接続しているとき

音声のダイナミックレンジ圧縮 **DVD** (ドルビーデジタルのみ)
小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

- **切**
- **入**

早送り時の音声 **DVD** **CD** **VCD**
早送りする時、音声のあり / なしが選べます。

- **あり**
- **なし**



画面表示

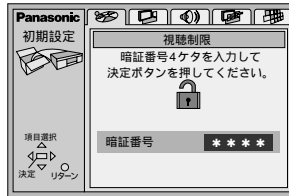
画面メニュー言語
初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語が選べます。

- **日本語**
- **English (英語)**

画面メッセージ
操作時の表示をテレビ画面に表示する / しないが選べます。

- **入**
- **切**

暗証番号の入力方法



- 1 数字ボタンで 4 ケタの数字を入力し、[ENTER] を押す
● [ENTER] を押す前なら、[CANCEL] を押すと取り消せます。
- 2 暗証番号を確認し、[ENTER] を押す
暗証番号は忘れないでください。

視聴制限を超える DVD を入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。



その他

デモモード
“する” を選ぶと、テレビ画面上でデモンストレーション表示が始まります。
(デモは、リモコン・本体のボタンを押すと停止し、設定は「しない」に戻ります。)

- **しない**
- **する**

クイックセットアップ
本機の基本的な設定を、画面上での対話形式によって行えます。

- **する**
- **しない**

言語番号一覧表

アイスランド : 7383	オランダ : 7876	ジャワ : 7487	ドイツ : 6869	ベンガル(バンガラ) : 6678
アイマラ : 6588	カザフ : 7575	スウェーデン : 8386	ナウル : 7865	ベルシャ : 7065
アイルランド : 7165	カシミール : 7583	スロバキア : 8375	日本語 : 7465	ポーランド : 8076
アゼルバイジャン : 6590	カタロニア : 6765	スロベニア : 8376	ネパール : 7869	ポルトガル : 8084
アッサム : 6583	ガリチア : 7176	スワヒリ : 8387	ノルウェー : 7879	マオリ : 7773
アフアル : 6565	韓国(朝鮮)語 : 7579	スندا : 8385	ハウサ : 7265	マケドニア : 7775
アフリカーンス : 6570	カンナダ : 7578	スペイン : 6983	ハンガリー : 7285	マライ(マレー) : 7783
アプハジア : 6566	カンボジア : 7577	ズールー : 9085	バシキール : 6665	マラッタ : 7782
アムハラ : 6577	キルギス : 7589	セルビア : 8382	バスク : 6985	マラーヤラム : 7776
アラビア : 6582	ギリシャ : 6976	セルボクロアチア : 8372	バシュト : 8083	マルタ : 7784
アルバニア : 8381	クルド : 7585	ソマリ : 8379	パンジャブ : 8065	マダガスカル : 7771
アルメニア : 7289	クアアチア : 7282	タイ : 8472	ヒンディー : 7273	モルダビア : 7779
イタリア : 7384	クアラニー : 7178	タタール : 8484	ビハール : 6672	モンゴル : 7778
イディッシュ : 7473	グジャラト : 7185	タミル : 8465	ビルマ : 7789	ヨルバ : 8979
インターリングア : 7365	グリーンランド : 7576	タガログ : 8476	フィジー : 7074	ラオ : 7679
インドネシア : 7378	グルジア : 7565	タジク : 8471	フィンランド : 7073	ラテン : 7665
ウェールズ : 6789	ケチュア : 8185	チエコ : 6783	フェロー : 7079	ラトビア(レット) : 7686
ウオロフ : 8779	ゲール(スコットランド) : 7168	中国語 : 9072	フランス : 7082	リトアニア : 7684
ヴォラピュック : 8679	コーサ : 8872	チベット : 6679	フリジア : 7089	リンガラ : 7678
ウクライナ : 8575	コーサ : 8872	ティグリニア : 8473	ブータン : 6890	ルーマニア : 8279
ウズベク : 8590	コルシカ : 6779	テルグ : 8469	ブルガリア : 6671	レトロマンス : 8277
ウルドゥー : 8582	サモア : 8377	デンマーク : 6865	ブルターニュ : 6682	ロシア : 8285
英語 : 6978	サンスクリット : 8365	トウイ : 8487	ヘブライ : 7387	
エストニア : 6984	ショナ : 8378	トルクメン : 8475	ベトナム : 8673	
エスペラント : 6979	シンド : 8368	トルコ : 8482	ペロルシア(白ロシア) : 6669	
オーリヤ : 7982	シンハラ : 8373	トンガ : 8479		

お手入れ・使用上のお願い

お手入れ

本体が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
アルコールやシンナーは使わないでください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

お知らせ

使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

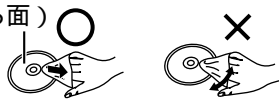
ディスクについて

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。
布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

再生面(光っている面)

内側から外側へ

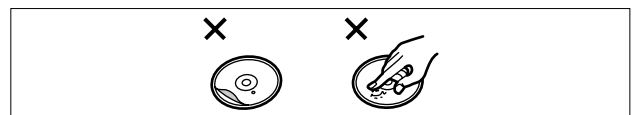


露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のおお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
再生面には手を触れない。
鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
紙やシール、ラベルを貼らない。
シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。(下図)



市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない。

ハート型など、特殊形状のディスクは使わない。

保管

次のような場所に置かないでください

直射日光の当たる場所

湿気やほこりの多い場所

暖房器具の熱が直接当たる場所

著作権

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」、「DTS デジタルサラウンド」および「DTS デジタルアウト」は DTS 社の登録商標です。

Q & A (よくあるご質問)

Q (質問)	A (回答)	参照ページ	
接続／設置について	ドルビー デジタル や DTS の 5.1ch サラウンド音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か	デコーダー内蔵の AV アンプと 6 本のスピーカーを用意すれば、5.1ch サラウンド音声がお楽しみになれます。	6
	ハイビジョンテレビに接続できるのか	接続できます。より良い映像のために、DVD 対応のコンポーネント映像端子に接続することをお勧めします。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ端子には接続しないでください。	6、7
	S 映像端子、コンポーネントビデオ端子、D 端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらいいのか	コンポーネント映像端子または D 端子に接続すると、DVD に記録されたままの状態ですべての信号を出力するため、S 映像端子に接続した場合より、さらに忠実に色を再現します。	7
	LD と接続できるか	本機には接続できません。	—
	引っ越しても使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。	—
	海外でも使えるか	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	—
使いかたについて	海外で買った DVD は再生できるか	リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいて、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	2
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVD のリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていない DVD は再生できません。	—
	CD-G は再生できるか	再生できません。	—
	ビデオで録画できるか	ほとんどの DVD はコピー禁止処理がされており、録画できません。	—

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ	
電源について	電源が入らない	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	7
	勝手に電源が切れる	停止状態で約30分経過すると、節電のため、電源が自動的にスタンバイ状態になります。(オートパワーオフ) 再度電源を入れ直してください。	—
操作について	各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	—
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度、「切」「入」してください。	—
	リモコンが働かない	乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	5
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	5
	[▶](再生)を押しても、再生が始まらない (または、すぐに停止する)	寒いところから急に暖かいところを持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1~2時間放置してください。	—
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	2
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	24
		ディスクを正しくセットしてください。	9
	音声/字幕言語が切り換えられない	初期設定“視聴制限”の設定を確認してください。	22
		複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。	—
	字幕が出ない	本機の[AUDIO][SUBTITLE]ボタンでは切り換えできないディスクでも、ディスクのメニュー画面等で切り換えできる場合があります。	—
		字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません。	—
字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。		19	
アンクルを変えて見ることができない	A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所前後では、字幕が表示されないことがあります。	—	
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた	複数のアンクルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	—	
すべての設定を、工場出荷時に戻したい	以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 1 停止中、本体の[III]と[◀◀]を押しながら、テレビ画面の“オールクリア”が消えるまで、本体の[▲]を押す 2 本体の電源を一度「切」「入」する	—	
表示について	画面メッセージが出ない	“画面メッセージ”を“入”にしてください。	23
	GUI画面が欠ける(または表示されない)	GUI画面表示中、カーソルボタン[◀、▶]を押して右側の矢印アイコンを選び、[▲、▼]を押して上下に移動させてください。	20

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
--------	-------------	-------

音声について	音声が出ない	接続した機器の音量を確認してください。	—
		接続、設定を確認してください。	6、7、23
		接続した機器の入力切り換えは正しいですか？	—
		音声がひずむ場合は、ADVANCED SURROUND を“切”にしてください。	16
	3本以上のスピーカーをつないでいるときは、ADVANCED SURROUND を“切”にしてください。	16	
耳を刺激するような音が出る	他の機器とデジタル接続しているときは、“Dolby Digital”や“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。	23	

映像について	早送り/早戻しをしたら画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	—
	テレビに映像が映らない(または画面サイズがおかしい)	接続を確認してください。	6、7
		テレビの電源は入っていますか？	—
		テレビの入力切換えは正しいですか？	—
		“TV アスペクト”は正しく設定されていますか？	8
テレビ側の画面モードを変更してください。	—		

エラーメッセージについて

表示窓	“NO PLAY”	再生できないディスクが入っています。	2
		“視聴制限”を設定したディスクが入っています。	22
	“H ” (は数字)	異常が発生しました。(“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。)電源を一度、「切」「入」してください。	—
		“NO DISC”	ディスクが入っていません。 ディスクが正しく入っていません。
画面	“ディスクを確認してください”	ディスクがよごれています。	24

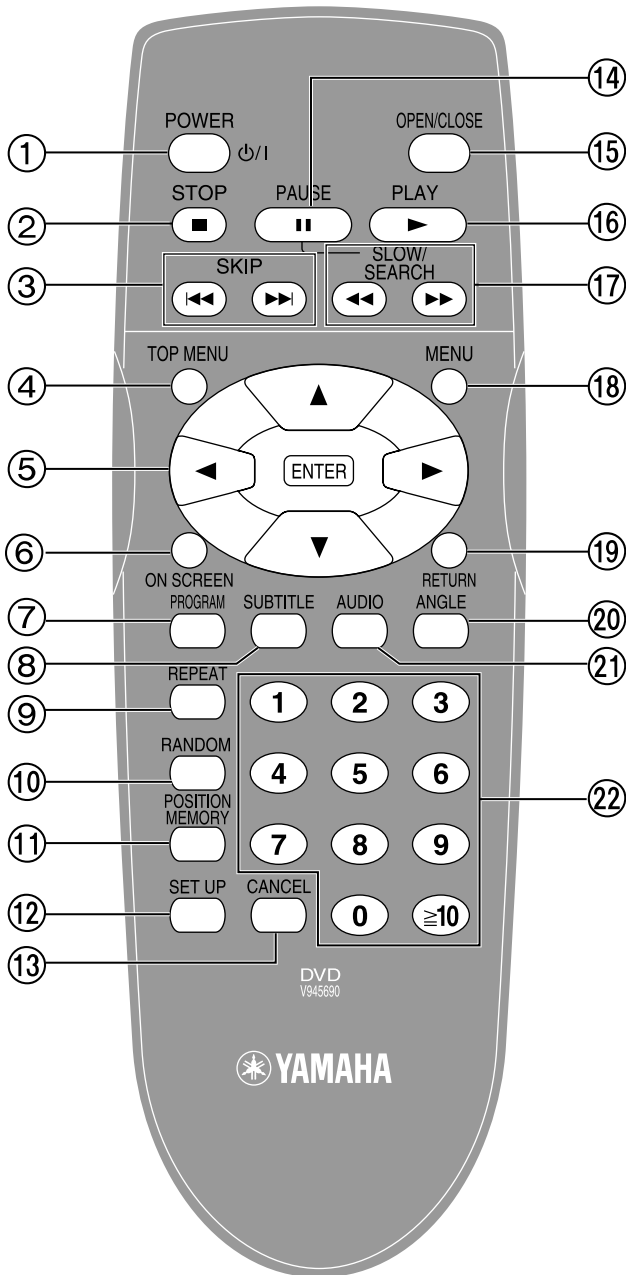
処置をされても表示が消えないときは

お買い上げの販売店またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点(☞裏表紙)に修理をご依頼ください。その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。

(例: “H□□” の場合「H01」)

各部のなまえとはたらき

リモコン

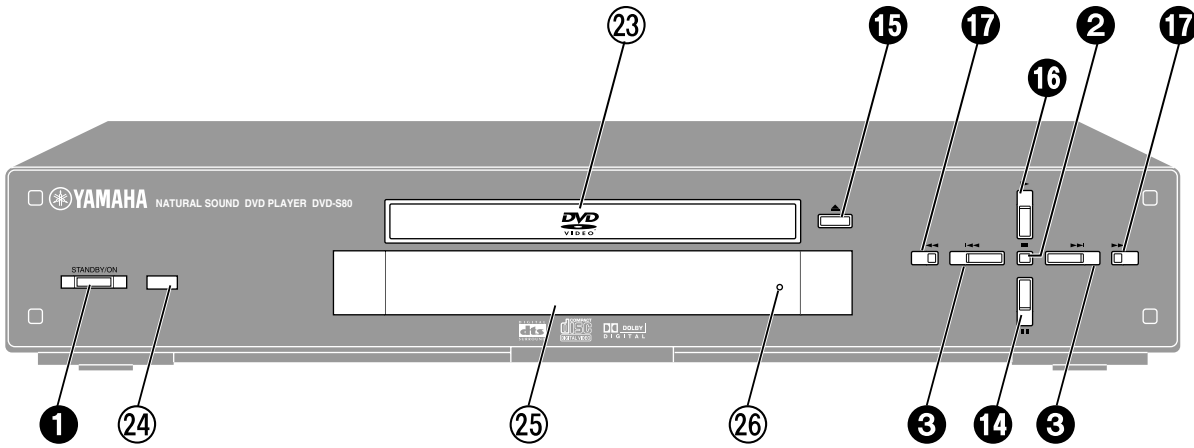


カッコ内の数字は参照ページです。

- ① [POWER ㊦/I]ボタン (8)
 - ② [■、STOP]ボタン (9)
再生を止める
 - ③ [◀◀、▶▶、SKIP]ボタン (11)
映像や音楽を頭出しする
 - ④ [TOP MENU]ボタン (9、12)
ディスクのメニュー画面を表示する
 - ⑤ [▲、▼、◀、▶]カーソルボタン/[ENTER]ボタン (8)
- ハイライトを [ENTER] で決定する
移動
- ⑥ [ON SCREEN]ボタン (13、20)
GUI画面を表示する
 - ⑦ [PROGRAM]ボタン (14)
プログラム再生をする
 - ⑧ [SUBTITLE]ボタン (19)
DVDの字幕言語を切り換える
 - ⑨ [REPEAT]ボタン (13)
繰り返し再生をする
 - ⑩ [RANDOM]ボタン (15)
ランダム再生をする
 - ⑪ [POSITION MEMORY]ボタン (10)
記憶した位置から再生させる
 - ⑫ [SET UP]ボタン (8、22)
初期設定画面を表示する
 - ⑬ [CANCEL]ボタン (14)
入力した数字を取り消す
 - ⑭ [■、PAUSE]ボタン (10)
一時停止する
 - ⑮ [OPEN/CLOSE]ボタン (9)
トレイを開閉する
 - ⑯ [▶、PLAY]ボタン (9)
再生をする
 - ⑰ [◀◀、▶▶、SLOW/SEARCH]ボタン (11)
映像や音楽を早送り/早戻しする
 - ⑱ [MENU]ボタン (9、12)
ディスクのメニュー画面を表示する
 - ⑲ [RETURN]ボタン (8)
メニュー画面に戻る
 - ⑳ [ANGLE]ボタン (18)
複数のアングルが記録されているDVDで、アングルを切り換える
 - ㉑ [AUDIO]ボタン (18)
DVD、ビデオCDの音声を切り換える
 - ㉒ 数字ボタン (9)

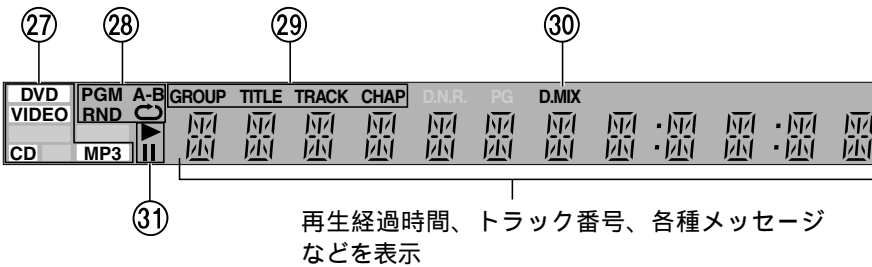
本体

① や ③ などのボタンは、リモコンのボタンと同じはたらきをします。



- ②3 トレイ
- ②4 リモコン受信部
- ②5 表示窓（下記）
- ②6 スタンバイランプ

表示窓



- ②7 ディスク表示
DVD VIDEO :DVD ビデオ
VIDEO CD :ビデオ CD
CD :音楽 CD
MP3 :MP3 ディスク
- ②8 再生状態表示（13、14、15 ページ）
PGM :プログラム再生
RND :ランダム再生
A-B ↻ :A-B リピート再生
- ②9 メイン表示部の表示モード
GROUP :グループ番号
TITLE :タイトル番号
TRACK :トラック番号
CHAP :チャプター番号
- ③0 ダウン・ミックス D. MIX 表示
マルチチャンネル信号を2チャンネルにダウンミックス可能であることを表示
- ③1 再生表示
▶ :再生中
▶（点滅） :続き再生メモリー中
|| :一時停止

用語解説

I / P / B

DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

I-picture： 共用データの基準として単独で記録されるフレーム

P-picture： 過去のI-picture、またはP-pictureを元につくられるフレーム

B-picture： I / P 両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-pictureの画質がもっとも良く、画質調整をするときは、I-pictureで一時的に停止することをおすすめします。

MP3

エムペグ オーディオ レイヤー

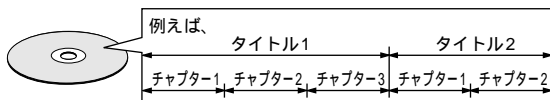
MPEG Audio Layer 3 (MP3) という音声圧縮方式は、元の音質をあまり損なうことなく音声を10分の1程度に圧縮できます。

コンポーネント映像出力端子

S映像よりもさらに鮮明な、D端子出力映像と同等の映像を得ることができます。テレビやモニターなどにより入力端子の表示が異なる(Y/P_B/P_R、Y/B-Y/R-Y、Y/C_B/C_Rなど)場合がありますので、そちらの説明書もご覧ください。

タイトル、チャプター (DVD)

DVDは、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられており、それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。



ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

チャンネル (ch)

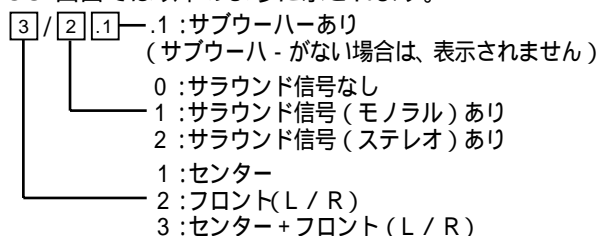
出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。

例) 5.1チャンネル

- フロントスピーカー [L (1ch) / R (1ch)]
- センタースピーカー (1ch)
- サラウンドスピーカー [L (1ch) / R (1ch)]
- サブウーハー [1ch x 0.1 = 0.1ch]

出力される音声全体に対して低音が占める割合

GUI画面では以下のように示されます。



デジタルシアターシステムズ DTS (Digital Theater Systems)

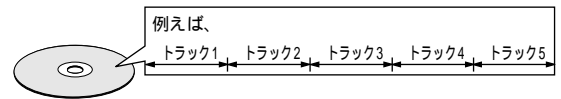
多くの映画館で採用されている最大5.1chのサラウンドシステムです。情報量が多いので、リアルな音響効果が得られます。

デコーダー

DVDなどに符号化して記録した音声データを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

トラック (CD / ビデオCD)

CDやビデオCDは、いくつかの区切り(トラック)に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。



ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2ch)はもちろん、最大5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビープロロジック

4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、演算処理により、再び4チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

ビットストリーム Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダーによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード(復号)されます。

リニアPCM (LPCM)

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

主な仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

許容周囲温度 +5 ~ 35
 許容相対湿度 5 ~ 90 % RH (結露なきこと)
 再生可能ディスク (8 cm、12 cm)
 DVD-Video、DVD-R (DVD ビデオ規格準拠)
 CD-Audio (CD-DA) ビデオ CD
 CD-R/RW (CD-DA、ビデオ CD フォーマットの
 ディスク)
 MP3
 再生可能な最大トラック数 : 999 トラック
 再生可能な最大グループ数 : 99 グループ
 ビットレート : 32 kbps ~ 320 kbps

信号形式 NTSC

映像出力

出力レベル : 1 Vp-p (75)
 出力端子 : ピンジャック
 端子数 : 1 系統

S 映像出力

Y 出力レベル : 1 Vp-p (75)
 C 出力レベル : 0.286 Vp-p (75)
 出力端子 : S 端子
 端子数 : 1 系統

コンポーネント映像出力

Y 出力レベル : 1 Vp-p (75)
 C_B 出力レベル : 0.7 Vp-p (75)
 C_R 出力レベル : 0.7 Vp-p (75)
 出力端子 : ピンジャック (Y: 緑、C_B: 青、C_R: 赤)
 端子数 : 1 系統

D1 映像出力

Y 出力レベル : 1 Vp-p (75)
 C_B 出力レベル : 0.7 Vp-p (75)
 C_R 出力レベル : 0.7 Vp-p (75)
 出力端子 : D 端子
 端子数 : 1 系統

音声出力

出力レベル : 2 Vrms (1 kHz、0 dB)
 出力端子 : ピンジャック
 端子数 :
 2ch 出力 : 1 系統
 サブウーハー出力 (0.1ch) : 1 系統

音声出力特性

周波数特性

DVD (リニア音声) :
 2 Hz ~ 22 kHz (48 kHz サンプリング)
 2 Hz ~ 44 kHz (96 kHz サンプリング)
 CD : 2 Hz ~ 20 kHz (JEITA)

S / N 比 CD 115 dB (JEITA)

ダイナミックレンジ

DVD (リニア音声) : 102 dB
 CD : 98 dB (JEITA)

全高調波歪率

CD : 0.0025 % (JEITA)

デジタル音声出力

光デジタル出力 : 光コネクター

電源 AC 100 V 50 / 60 Hz

消費電力 10 W

待機時消費電力 約 1.5 W

外形寸法 435 (幅) × 247.5 (奥行) × 74.5 (高さ) mm
 (突起物を含まず)

質量 約 2.6 kg

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっ
 ては気になるものです。特に
 静かな夜間には窓を閉めたり、
 ヘッドホンをご使用になるの
 も一つの方法です。



音のエチケット
 シンボルマーク

もし

主な仕様

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- 技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年(テープデッキは6年)です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。

スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-1-4-14
TEL (082) 874 - 3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



永年ご使用のAV製品の点検を!

こんな症状はありませんか?

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズか変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
電源を入れても正常に作動しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>